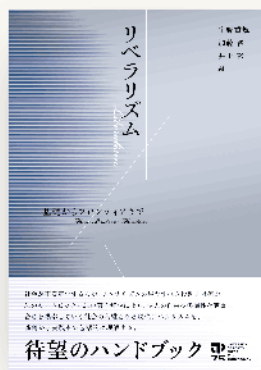


——『リベラリズム』（東京大学出版会）刊行記念——

編＝宇野重規・加藤晋・井上彰



『リベラリズム』の刊行を記念して、リベラリズムをめぐるシンポジウムを開催します。

現代世界は、戦争や分断、格差の拡大など、さまざまな困難に直面しています。人々の利害が対立するだけでなく、容易には折り合えない価値観の違いが存在するなかで、リベラリズムは現代の政治社会において、いかなる役割を果たしうるのでしょうか。また、20世紀を代表する政治哲学者 *John Rawls*（ジョン・ロールズ）によって、リベラリズムとはどのような思想だったのでしょうか。そして、その思想は今日の私たちに何を問いかけているのでしょうか。

本シンポジウムでは、広瀬巖氏をお迎えし、本書の編者・執筆者とともに、現代におけるリベラリズムの意義と課題について議論します。本書の内容を踏まえつつ、リベラリズムの可能性と限界をあらためて考え、その理解を深める機会としたいと思います。

日時 2026年7月27日（月）15:00～17:00 開場14:30

会場 東京大学本郷キャンパス 赤門総合研究棟 5F センター会議室

PROGRAMME

15:00 - 17:00

14:30 開場

15:00-15:05 開会の挨拶（5分）／編者代表

15:05-15:20 広瀬巖氏（マギル大学）からのコメント（15分）

15:20-15:35 各編者からのコメント（5分×3名）／宇野重規・加藤晋・井上彰

15:35-15:45 休憩（10分）

15:45-16:45 シンポジウム／パネルディスカッション（60分）

16:45-17:00 全体討論・質疑応答／閉会の挨拶（15分）

リベラリズムに 何が できるか

Liberalism

東京大学
社会科学研究所

参加無料・要申込

主催：東京大学社会科学研究所

CONTACT susumu.cato@gmail.com

お申込は
こちらから
Registration

